

えどがわエコセンター 第18回 通常総会開催

令和3年5月29日(土)、ソーシャルディスタンスを確保するなど、安全面に万全の配慮をしながら第18回通常総会が開催されました。

昨年度、コロナ禍において対策を取りながら行った各事業に関する実績の報告や、役員任期に関する定款の変更、そして新たな役員を選任など、多岐にわたる議案が審議されました。会員の皆さまのご協力のもと、予定された議案は原案通りすべて承認されました。新しい役員のもと、より良い環境づくりに向けて事業運営を行ってまいりますので、これからもよろしくお願いいたします。

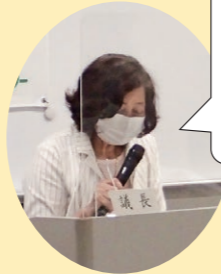


活発な意見が交わされた当日の様子



中山副理事長

副理事長を拝命いたしました中山雄司と申します。微力ではありますが、理事長を支え、エコセンターのますますの発展のために、力を尽くして参りたいと思っておりますので、会員の皆様方の温かいご指導ご鞭撻をお願いします。



山谷議長

皆様のご協力のもと、無事終えることができました。

令和3年度 エコアクション講座 ～今後の予定～

- 11/13(土) **オンライン講演会** ※SDGs Month in EDOGAWA 参加企画
『お天気キャスター小林正寿さんに聞く お天気と地球温暖化と災害対策』
- 11/23(祝) **エシカル消費講演会**
『サステナブルな消費と生産 ～エシカル消費から未来を考える～』
- 12/23(木) **講演会**
『(仮) お笑い芸人マシンガンズ・滝沢秀一さん ごみ収集の現場で見た食品ロス』
- 1/22(土) **バス見学会**
『中央防波堤埋立処分場&東京港野鳥公園』
- 2/ 5(土) **船上観察会**
『屋形船に乗って、ラムサール条約登録湿地を見に行こう!』
- 3/ 5(土) **バス見学会**
『親子で行こう! スイソミル&えこっくる江東』



気象予報士
小林正寿さん



お申し込みについてはHPなどでお知らせします。皆さんご参加ください!

えどがわエコセンターのイベントや事業は新型コロナウイルス感染症対策の下で行います。掲載内容は変更になる場合がありますのでご了承ください。

寄付のお願い



皆さまからのご寄付は持続可能な地域社会づくりに貢献する取り組みに活用いたします。

認定NPO法人 共育・協働の環境づくり

編集・発行 **えどがわエコセンター**

住所: 〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀3階
TEL: 03-5659-1651 FAX: 03-5659-1677
E-mail: edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp
URL: https://edogawa-ecocenter.jp/
Facebook: https://www.facebook.com/edogawa.ecocenter
開館時間: 9:00 ~ 17:30 定休日: 日曜・祝日



※機種によっては読み取りづらい場合があります



エコちゃんねる

えどがわエコセンター情報紙 vol.56

October 2021

エコちゃんねる=えどがわエコセンターのイメージキャラクター・エコちゃん+Channel (情報を送る) 2004年7月創刊

変えよう! マイスタイルを!



オフグリッドハウス 『松江の家』



※オフグリッドハウスとは、太陽光パネルと蓄電システムを備えた、電気を自給自足できる家のことです。(中面でも紹介)

未来につながる新しい生活様式を、**移 食 住**をキーワードに紹介します!
CO₂の排出を減らす
様々な取り組みにチャレンジ!!

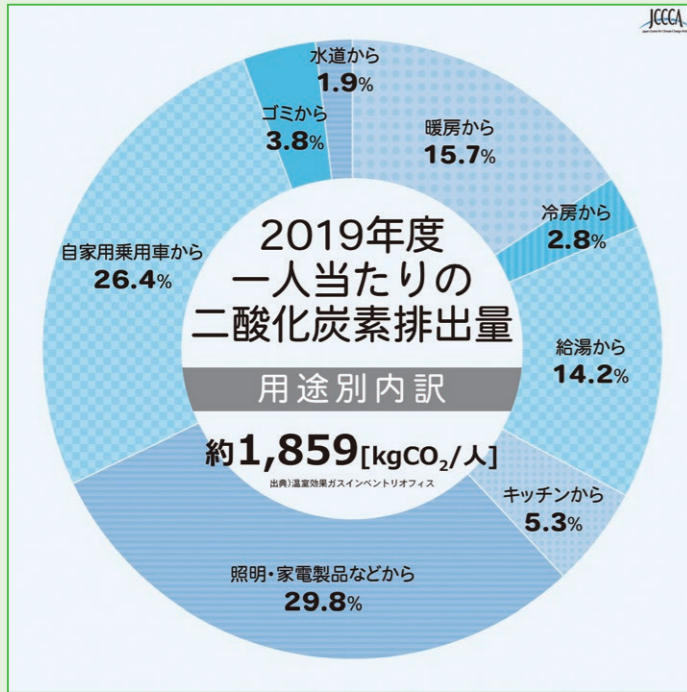


CO₂の排出を減らす、新しいライフスタイルへ!

CO₂排出の要因には、生活に関連するものが多く、特に **移動** **食事** **住まい** から多くのCO₂が排出されています。

家庭からのCO₂排出量

出典：JCCCA ウェブサイト



IPCC※によると…

- 地球温暖化による温度上昇は、0.5℃抑えるだけでもその影響が大きく変わることが報告されています。
- 海面上昇によって影響を受ける人が1千万人も減少する
 - 生物多様性のロスや種の絶滅が減少する
 - 2050年までに気候に関連したリスクや、貧困に影響を受けやすい人が数億人減少する

※IPCCとは(Intergovernmental Panel on Climate Change) 気候変動の専門家や研究者で構成されている国連の組織です。



出典：JCCCA ウェブサイト

出典：BCC NEWS ウェブサイト

平均気温の上昇を1.5℃に抑えるための対策

2030年までにCO₂排出量を2010年比で約45%削減し、2050年までには「正味ゼロ」にする必要があります。



つながる未来へ

変えよう! 新しい **移** **食** **住**



移動によるCO₂排出量の80%は自動車からです。

移動手段を工夫しよう!



移

公共交通機関や自転車などの利用

電車やバスなどの公共交通機関や自転車を利用することでマイカーによるCO₂の排出を抑制できます。



ゼロエミッション・ビークル

二酸化炭素を排出しない電気自動車(EV)や燃料電池自動車(FCV)、プラグインハイブリッド(PHV)などのゼロエミッション・ビークルの活用は重要な方策です。



出典：東京都

マイクロモビリティ

地域の手軽な移動手段となる1,2人乗り程度の車両。動力に電力が利用され、環境に配慮された乗り物として注目されています。



出典：LUUP

カーシェアリング

1台の自動車を複数の会員が共有することで、自動車の走行距離の減少につながりCO₂の排出が抑制されます。



食



食事に関するCO₂排出量の25%は肉類にかかわるものです。

肉類をなるべく控えよう!

代替肉・培養肉

大豆などの植物性たんぱく質を使った代替肉は製造工程で出るCO₂排出量が肉よりも少ないとされています。また、細胞培養の技術を生かした培養肉も将来家畜を補う役割が期待されています。



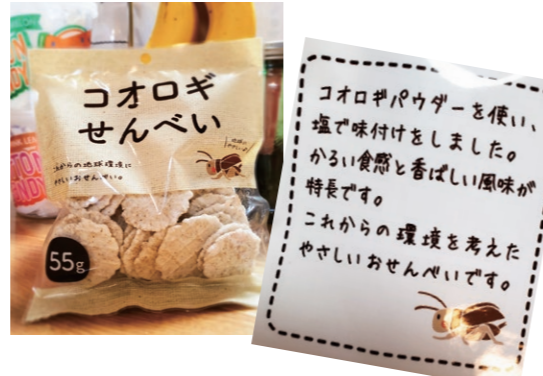
ヴィーガン・フレキシタリアン

牛肉などの肉や乳製品を食べない、あるいは食べる回数を減らすヴィーガンやフレキシタリアンなどの取り組みも注目され、月曜日だけは肉を食べない「ミートフリーマンデー」も世界に広まっています。



昆虫食

地球上には食べられる昆虫が1,900種以上も存在し、食品や飼料として活用が進められ、フリーズドライ製法などのドレッシングやスープも開発されています。



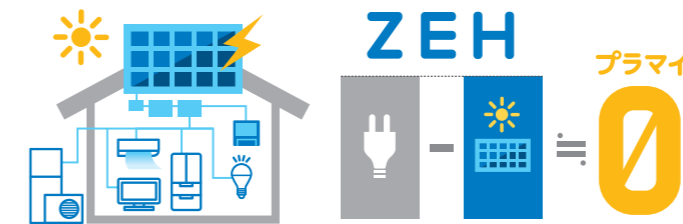
住まいは生活の中で最も多くのCO₂を排出しています。

省エネ性能の高い住宅の導入を!

住

ZEH (Net Zero Energy House) ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

ZEHはエネルギーの消費量の収支をゼロにすることを指した住宅で、ポイントは創エネや省エネ、高断熱です。



太陽光発電

再生可能エネルギーである太陽光発電を利用することで、CO₂の排出が抑制されます。また、畑や水田を活用し農業と発電を一緒に行うソーラーシェアリングも進められています。



[参考] 表紙掲載 ソーラーシェアリング上総鶴舞

高断熱・高気密

夏の暑さや冬の寒さを遮断し、家の中の温度を一定に保つ高断熱・高気密住宅は、快適に住むことができるだけでなく、冷暖房などに使用する電力を削減することができます。

オフグリッドハウス「松江の家」(松江1丁目)



出典：NPO法人足温ネット <https://www.sokuon-net.org/>

※今後見学会を実施予定